



減薬外来の受診を希望される他院通院中の患者さまへ

当院では**向精神薬の減薬**の相談を受け付けています。

お薬の量や種類を減らしたい方は以下の文章をよくお読みになり、ご相談ください。

- 向精神薬とは抗うつ薬、睡眠薬、気分安定薬、抗不安薬、抗精神病薬です。
- お薬の量が多くて不安である、お薬を減らしたい、または中止したい・・・などの相談に応じています。
- 減薬は、お薬の特性に合わせて診察回数を重ねておこないます。
- 減薬中、場合によって強い離脱症状が懸念されれば、入院をすすめることもあります。
- また、現状のお薬の量が適切と担当医が判断すれば、必ずしも減量に至らないこともあります。
- 薬の使用歴が記載されたお薬手帳は必ずお持ちください。
- 可能であれば、紹介状はお取りいただければ幸いです。紹介状があれば、詳しい病歴や治療歴が分かるだけでなく、**保険外併用療養費（選定療養費）をお支払いいただく必要はありません**。紹介状をお持ちでない場合は、診療費とは別に、上記費用を自費でお支払いいただく必要があります。
- なお他院で加療中の方は、**当院精神神経科の初診を経て**、必要があれば減薬外来の予約をとらせていただきます。

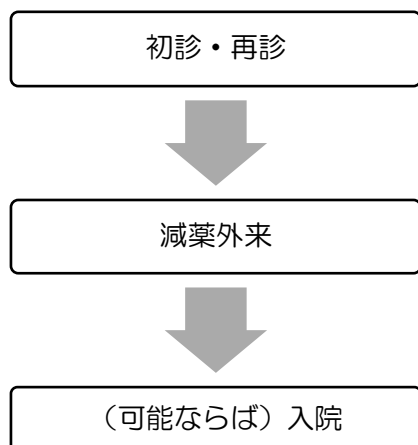
当院初診の患者様

→かかりつけ医からの予約と紹介状が必要

当院に現在おかけの患者様

→主治医の医師に減薬外来受診希望をお伝え下さい。

〈診察の流れ〉



- ベンゾジアゼピン系薬剤を3種類以上内服の方
- そのほかの向精神薬の減量や中止を希望される方

- 適切かつ具体的な減量・中止・変更方法を提案
- 必要であれば、CBT-I^(注)（睡眠の認知行動療法）の導入

(注) CBT-Iは心理師のもと1回30分を5~10クール行います。

